

# 村山市消防団広報誌



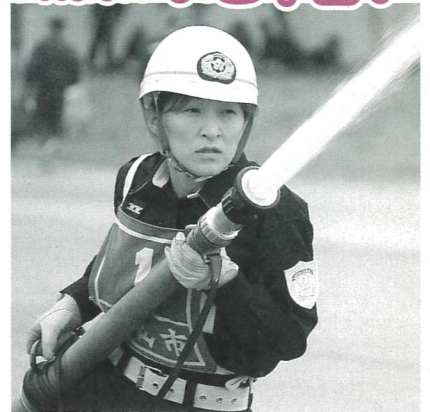
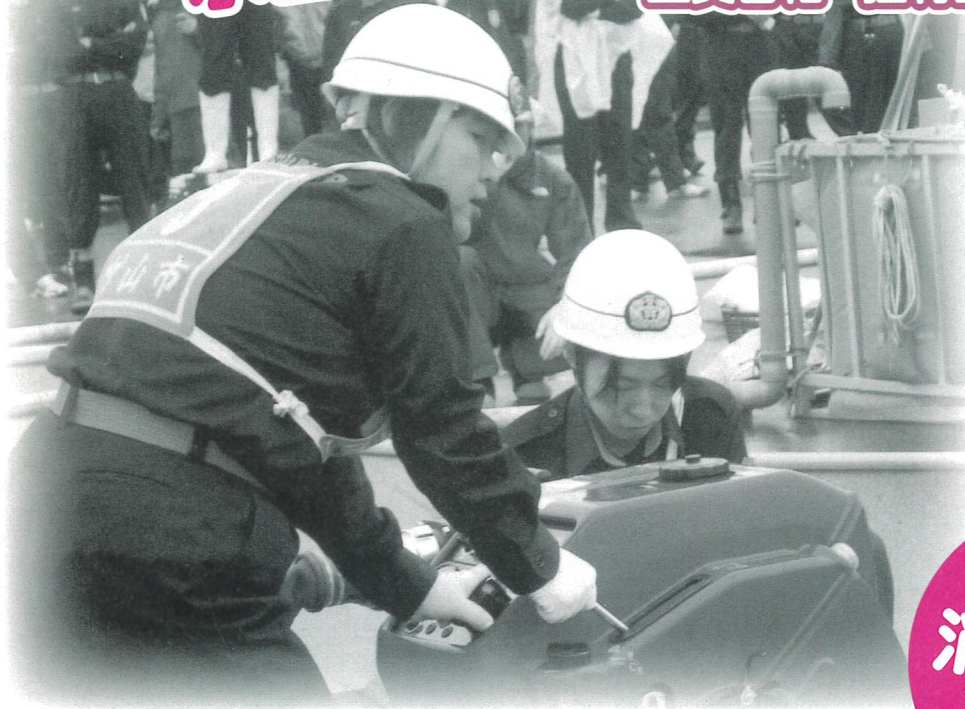
平成23年1月発行

村山市消防団

## 女性消防団員 水出し操法へアタック!!

平成22年  
9月12日(日)

“全員合格”猛特訓の成果、いざ本番!



- 2分団 (西郷) 指 矢萩豊親(男)  
 ① 八鍬 真美  
 ② 工藤真樹子  
 ③ 須藤 陽子  
 補 佐藤浩樹(男)

女性  
消防団員  
募集!!



- 6分団 (戸沢) 指 笹原美智子 ② 三浦 裕美 補 細谷菜津美  
 ① 小野 智子 ③ 卵野 明美

### 年頭のあいさつ



村山市消防団長  
西塚 茂 男

平成二十三年の新春を、謹んでお慶び申し上げます。

市民の皆様には、日頃から消防活動に変わらぬご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私ども消防団は、団員一人一人が消防人として自覚と責任ある消防業務活動に努めます。住宅用火災警報器の設置も今年六月から義務化されるところであります。消防団でも老人世帯への住警器取付等のお手伝いをさせていただき、地域に密着した活動を進めてまいりたいと考えております。

毎年、十月の最終日曜日を「村山市防災の日」として、各地域八ヶ分団がそれぞれの地域で訓練を実施しております。「自分の地域は自分が守る」の合い言葉に地域一体となって訓練に参加していただいていることこそが「無火災、無災害」につながる道だと思っております。

結びに、市民の皆様のご多幸とご活躍を願って、年頭のあいさつとさせていただきます。



## 消防団で

### 「住宅用火災警報器」

取付を支援します

◆ 購入は自分で ◆



- ♣ 自分で取り付けができない方
- ♣ どこに付けていいかわからない方

お気軽にご相談ください

♠ 問合せ先 ♠

消防署 ☎55-2514

## 女性消防団員連絡会議

### 水前寺 清子さん

(日本消防協会 消防応援団員)



第14回県女性消防団員連絡会議が10月24日山形グランドホテルで開かれました。女性消防団発祥の地山形で、今後の消防活動の活性化と意識高揚を確認してきました。県

内の女性団員、消防団長ら約250人が参加。村山市からは、女性消防団員17名が参加しました。

日本消防協会消防応援団員の水前寺清子さんが「三百六十五歩のマーチ」などを披露。



## 親子で団員

富雄



### 大田分団長 親子

大田一重さん…昭和57年入団  
一也さん…平成19年入団

父の一重さんは8分団の分団長で大高根地域をまとめてくれる、なくてはならない存在です。

息子の一也さんは、背の高いイケメンさん。若さと元気で大高根地域を守ってくれています。

## 夫婦で団員

楯岡



### 柴崎さんご夫婦

柴崎雅典さん…平成15年入団  
一枝さん…平成10年入団

- 📖 二人で入団して良かった事？
- 👨 消防活動に対して、理解してくれる事
- 👩 お互い火災予防等について、注意し合える事
- 📖 一言コメントをお願いします。
- 👨👩 夫婦で消防団員として活動できて、大変光栄です。これからも夫婦二人、消防団活動を続けていけるよう、家族の協力を得ながら頑張っていきたいと思えます。





# 子供救命士プロジェクト授業 はじまる!

戸沢小学校・大久保小学校

母として、どんな授業なのか大久保小学校へ行って早速取材!!  
「自分の安全を確認すること。助けを求めて社会のシステム（消防や警察、病院など）を動かすこと。一人で助けなくてみんなで助けましょう!」と事故を見つけた時に大事なことや、ダミー人形を使って心臓マッサージをしたり、AEDの使い方も習いました。この中から未来の救命士が誕生するかも!



「何回押すんですか?」「助かるまで!」



「呼吸ある?」

## まとい蓮 救命講習

踊り手の若い衆が、いざという時に役に立てたいと、救命講習を受講しました。

踊る楽しさとは違い冷や汗をかきました。「本当にしているの?!」…、誰かそばにいてくれると心強いのに。やるには勇気が必要だなとつくづく感じました。

踊りの時はいい汗かいた分ビールが美味しい…。

その後、急性アルコール中毒で救急搬送「ピーポーピーポー」

こんなことになりたくないものです。

(まとい蓮：土田直樹)



## がんばる仲間

## 消防団員募集!



1分団  
佐藤 京介



2分団  
大場 一幸



3分団  
板垣 真一



4分団  
三原 太一



5分団  
後藤 敏幸



6分団  
渡部 浩二

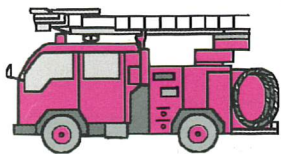


7分団  
矢作 徹



8分団  
高橋 大樹





# シリーズ分団紹介



## 第七分団

(袖崎地区)

団員数：77名(うち女性団員4名)

第七分団長 川田 雅紀

### ①団員の意識が明確

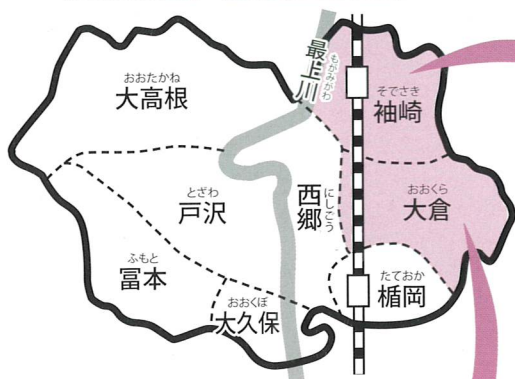
我々七分団団員は、共通意識として幅広い社会構成員の中の一員として、持ち場意識をはっきり持ち責任ある行動が出来ることです。

### ②連携が抜群

当地区防災部会、婦人会、女性消防との連携が抜群。その一番良い例が、住宅用火災警報器の共同購入により、設置率が市内で一番だということです。

### ③ここが一番

地区防災訓練及び反省会で培われた、地域の諸先輩方との訓練、交流を通じて「袖崎地域の一員」であるという自負、そして酒席で鍛えた『タグイマレ』な！「協調性」が、第七分団の伝統的生命線です。



## 第三分団

(大倉地区)

団員数：72名(うち女性団員2名)

第三分団長 齋藤 昌幸

### ①いいところ

甌岳のふもと、大倉堤・デンジ草など自然豊かな中で消防団と地区民の防火防災意識、協力体制の高い地域です。

### ②協力性バッチリ

今年、5年ぶりに地域防災マップの見直しを図り高齢者宅独り暮らしが多くなりつつある中、応急手当普及員の拡大など安全安心のため更なる活動を行っています。

### ③消防魂！

現在、団員のほとんどがサラリーマンのため昼間の出勤が困難になっていますが、消防魂で操作員の技術の向上、確保に努めていきます。

がんばって  
います!!



## 編集委員会

委員長 菅井 明美  
副委員長 後藤 厚子  
委員 柴崎 宏美  
委員 八木 真美  
委員 鈴木 千晶  
委員 片桐 修子  
委員 卯野 明美  
委員 八木 高美  
委員 佐藤 みどり

## 編集後記

市民の方々の消防への興味関心が高まることを願いながら、身近な防火救命の話題や消防活動についてご紹介させていただきました。

無病息災で明るい一年でありますようお願い申し上げます。今年も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。(「題字」後藤厚子)

## 問合せ先

<村山市消防本部> ☎55-2514 <火の用心 災害テレホンサービス> ☎55-0119  
<E-mail> syoubouhonbu@city.murayama.lg.jp